



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

予選レポート

2023/8/19 Rd-7 モビリティリゾートもてぎ

天候：晴れ/曇り 気温：36℃ 出走台数：22台

真夏のモビリティリゾートもてぎ戦は、Rd6 富士スピードウェイに続いて、スーパーフォーミュラ夏祭り第2弾として、全日本ロードレース選手権と同時開催される。

2つのノロノロ台風一過、ただでさえ酷暑時期に加え、大気の状態は依然不安定と思われ、ゲリラ豪雨など天候の急変も予想される。速さ強さと共に運も引き寄せる必要がある厳しいレースになるだろう。

第1予選 気温36度、路面温度54度の酷暑の中、A組牧野選手はコースオープンと同時に中古タイヤでチェックランを行う。残り5分で新品タイヤを装着してコースイン。

バランスは好感触で、トップ通過を果たす。

第1予選 B組太田選手も、牧野選手同様に中古タイヤでチェックランの後、新品タイヤでアタックへ。第1第2セクターでのフロントグリップ不足を感じ、4番手で第2予選へ進む。

続く第2予選、雲が太陽を遮り、気温は2度、路面温度は8度も下がり、第1予選と大きく状況が変わる中、牧野選手、太田選手はともに残り5分までタイミングを待ちコースに入る。牧野選手は、第1セクターでベストタイムを記録するが、第3、第4セクターでタイムを伸ばせず9位。

太田選手は、第2予選に向けて変更したセットアップが功を奏し、2位で予選を終えた。

5：牧野任祐 選手 予選9位 (第1予選A組1位 第2予選9位)

前戦富士の予選セットアップをベースにもてぎに合わせて持ち込んだセットアップは、フリー走行から感触良く、第1予選ではトップタイムを記録できました。

第2予選も車の感触としては全く問題なかったのですが、全体的にトップタイムには届かず、路面の変化に合わせることが出来ませんでした。

明日の決勝、もてぎは戦略の幅が大きいので、まずはスタートに集中し、レース戦略とチーム総合力で上位を目指します。

6：太田格之進 選手 予選2位 (第1予選B組4位 第2予選2位)

第1予選をトップ通過しながら、コンディション変化への対応が出来なかった前戦富士の予選の反省を踏まえ、第1予選から第2予選へのアジャストを課題として今日の予選に臨みました。第1予選ではピークには届いていないと感じていて、しかし第2予選のコンディションの変化に対応するセットアップはうまく機能させることが出来、チームと自分を信じてアタックした結果フロントロースタートを得ることが出来たことは満足しています。決勝はしっかりスタートを決めて優勝を目指します。